



校長だより



# 日中丸



第30号  
H31. 3. 4

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## ご卒業おめでとうございます

いよいよ、明日は卒業式です。これまで、式の練習を積み重ねるとともに、準備をしっかりとすすめてきました。明日は、生徒たちの成長した姿を見ることができると思います。私も楽しみにしています。また、卒業前には、「島ごはん」「卒業生を送る会」などいろいろな行事等がありました。どれも、心に残るすてきな思い出になったことでしょう。

### 卒業生を送る会 2.26(火)

2年生が中心となって企画し、1年生と協力しながら運営した「卒業生を送る会」が行われました。1・2年生からは、寸劇やゲーム、心のこもったメッセージが披露されました。職員からも卒業生への呼びかけを行いました。「おめでとう」や「ありがとう」、「がんばって」というメッセージやエールがたくさん聴かれ、3年生にとって思い出に残る行事となりました。ご参観くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。



### 3年 お祝い給食 2.27(水)

3年生の卒業を祝う「お祝い給食」が行われました。教育委員さんや支援員さんにも参加していただきました。普段よりちょっとだけ豪華なメニューや雰囲気、楽しく会食することができました。

残さず、おいしくいただきました。



## 朝会より 2.18(月)

### 生徒発表 (学級のまとめ・反省)

各学級の級長が、1年間の自分たちの成長を振り返りました。

#### 1年

私たち1Aは、「太陽のように明るく、思いやりがあふれ出る学級」をモットーに過ごしてきました。

この1年を振り返ると、思いやりのある行動がたくさん見られたと思います。日中祭では、思いやりをもってみんなで協力し、学級展示を成功させることができました。また、合唱コンクール本番では、練習のときよりもまとまりのある合唱を奏でることができ、成長を実感することができました。これらの行事を通して級訓である「太陽」に近づけたと思います。

あと2か月で僕たちは2年生になります。1年生も入ってきます。不安でいっぱいの新1年生がいたら、先輩として優しく教えてあげるなど、手を差し伸べたいです。

思いやりのあるクラスになれば、クラスみんなが笑顔になれると思うので、これからも思いやりをもった行動をしていきたいと思っています。

#### 2年

この1年を振り返って一番印象に残っていることは、林間学校です。2年生の行事の中でもとても大きい行事です。2泊3日の林間学校で「協調性」と「責任感」を身に付け、山の自然に触れることで日間賀のよさを改めて感じることができました。

この1年は、たくさんの成長ができたと思います。4月からは受験生なので、この1年で学んだことを生かしていきたいです。

#### 3年

私たちは、1年間を山に例えてみんなで頂上を目指すという意味を込めて、「頂き」という級訓にしました。

体育祭や合唱コンクールなど様々な行事がありましたが、特に、日中祭ではクラスみんなが協力して、小学生から大人まで楽しめるものをつくることができました。最初は意見が分かれてできるのか心配でしたが、先生たちとも相談して、ほとんどを自分たちでつくりことができました。

山の頂上にかかげる目標はそれぞれ違いますが、卒業式の日みんなが、山の「頂き」に立てるようになったらいいと思います。



### 中村浩二先生の話

### こんな話をしてくれました。

わたしは日間賀中に勤めて3年になります。最近、ある文章を読んで、日間賀島での3年間を振り返ることがありました。そのことについて、お話をしたいと思います。

その文章では「有用性」という言葉と「至高性」という言葉を対比させて捉えていました。「役に立つから必要」なことと「役に立つかどうかは関係なく）そのもの自体が素晴らしい」とでもいえるのでしょうか。(例えば、日間賀島の風景は、何かの役に立つわけではなくても、それだけで素晴らしいですね。)

人工知能 (AI) という言葉を聞いたことがある人は多いと思います。近い将来、コンピュータやロボットの技術がますます進化して、人間ができることをはるかに超えていくことになるのだそうです。そうなってくると、現在「有用 (役に立つから必要)」と思われていることは、AI がやってくれるようになれば必要ではなくなる、というように変化してくるかもしれないのだそうです。ですから、「至高性 (そのもの自体が素晴らしいか)」が大切にされる時代がやってくるであろう、という文章でした。

さて、わたしが日間賀島に勤めるようになって様々なところで感じたのは、生徒の皆さんも含め、島の方々がみんな、この「至高性」を (おそらくは無意識に) 大切にしている、ということでした。「子は島の宝」という言葉に私は感動しましたし、島の人たちの温かさはこの上なくうれしいものでした。

皆さんも、今年度、生徒会活動で「あいさつ」を大切にしてきました。日間賀サミットのテーマにも「ふれあい」がとりあげられました。「あいさつ」や「ふれあい」って役に立つからするものではないですね。そういった「至高」なものに目を向けることは、人生を豊かにするのだと思います。

3年生の皆さん。卒業が近づいてきました。

皆さんは、素晴らしいものを大切にできるセンスをもっていると思います。それはきっと、島の大人たちに磨いてもらって、存在しているものだと思うのです。どうぞ、そのことに感謝をし、誇りをもって卒業を迎えてください。

